

ぼくのノオト

⑤7 彼の歩んだ凸凹道

凸凹な彼が歩んだ道は、やはり凸凹だった。深い溝にはまり、人に助けられたこともしばしば。危ない橋を渡るときは、仲間を待ったこともある。

凸凹になったものを〇く収めるため、凹凸に慣れないことをして、気が付けば凹凹になっていたりもした。

地球は丸いのに、人間の世界はいつも凸凹。世の中みんなが、凸凹凸凹凸凹であれば、トータルで丸くなるような気もするが、そうでもないらしい。

四角い人、尖った人、人が凸凹なのは生きている証。凸になったり、凹になったり。なんだかんだ言っても、結局人はみんな凸凹だし、一人では生きていけない。人の世がどんなに歪んでも、丸い地球は今日も回っている。



認定NPO法人 いわき放射能市民測定室

たらちねクリニック

院長 藤田 操